弓削商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	工業英語
科目基礎情報					
科目番号	0114		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	工業英語：(実教出版)				
担当教員	Davaa Ganbat				
到達目標					
本講義は、科学技術に関する知識や事実を英語で理解し、英語で作文を書く、技術論文を読む、英語で話せる、プレゼンテーションを行うことができる能力を目標とする。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
技術者のための英語（技術的分野の英語、数学とプレゼンテーション）を実践することができる。		習った単語、表現を利用して作文を書く、技術論文を読む、英語で話すことができる。	習った単語、表現を利用して文章を書く、技術論文を読むことができる。	習った単語、表現を利用して文章を書く、技術論文を読むことができない。	
学科の到達目標項目との関係					
専門 A1 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2					
教育方法等					
概要	科学技術に関する知識や事実を英語で理解し、英語で作文を書く、技術論文を読む、英語で話せる、プレゼンテーションを行うことができる能力を身に付ける。本科目の履修により、本校のディプロマポリシーにおける「コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を持ちうる」能力を習得する。				
授業の進め方・方法	座学の発表とレポートを基本とする。				
注意点	1単位当たり30時間の自学自習を必要とする。 関連科目：英語および専門科目				
実務経験のある教員による授業科目					
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☒ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guide trainees to the factory	大きな数字の表現、思ったより～であるという表現などを利用して文章を作る、話すことができる。	
		2週	Study the drawing 1	二つの単語をハイフンでつなぎ、一つの単語とする表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		3週	Study the drawing 2	工場に設置しているさまざまな工作機械や装置について復習し、発音できるようにする。	
		4週	Operating the machines	命令形の表現、「ひっくり返っている」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		5週	Engine assembly training 1	測定する、確認、「～かどうか」の表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		6週	Engine assembly training 2	工場によく使われる表現を学び、自動車の生産工程を英語で表現できる。	
		7週	Welding robot	「ほとんど～でない」、「～にとって代わる」表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	Engineering materials	材料・気体・液体など一定の形がないものの表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		10週	Safety at work 1	「～するために」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		11週	Safety at work 2	「be+to不定詞」を用いた命令・義務・予定・可能などの表現を利用して文章を作る。	
		12週	Numbers 1	期間や時間の表現、割合や比率の表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		13週	Numbers 2	数と量の大きさ、数量、比較・差、倍率、比、比例を表す表現を学び、文章を作る。	
		14週	Graphs 1	グラフの名称、グラフに関する用語の表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		15週	Graphs 2	数値の増減の表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	Shape and size	形に関する表現、材料・重さ・長さをたずねるなどを利用して文章を作る、話すことができる。	
		2週	Numerical expressions 1	形の寸法、線や面の位置関係を表す表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
		3週	Numerical expressions 2	数式の表現、数式に関する用語を利用して文章を作る、話すことができる。	
		4週	Presentation 1	プレゼンテーションの構成（序論・本体・結論）理解し、表現することができる。	
		5週	Presentation 2	プレゼンテーションの資料を作成することができる。	

4thQ	6週	Presentation 3	プレゼンテーションの効果を高める視覚情報ができる。
	7週	Presentation 4	プレゼンテーションできるようになる。
	8週	中間試験	
	9週	An example of a presentation	本論の展開に役立つつなぎ言葉の表現ができるようになる。
	10週	4-cycle engine 1	「…を～にしておく」の表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	11週	4-cycle engine 2	名詞を修飾する表現などを利用して文章を作る、話すことができる。
	12週	Hybrid systems	「できるだけ(なるべく)～する」、「AもB～」、「AかB～」の表現を利用して文章を作る。
	13週	Integrated circuit (IC) 1	形式的な主語・目的語のitの表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	14週	Integrated circuit (IC) 2	「(結果が)～になる」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。
15週	New energy	比較を使った表現、「～だけれども」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。	
16週			

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	20	0	60
専門的能力	30	0	0	0	10	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0